

A者

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

- 【 施設計画の概要 】
- 【 業務の実施方針 】
  - 【 事業費 】
  - 【 工期 】
- 【 維持管理費抑制 】
  - 【 その他 】
- 【 ユニバーサルデザインの計画 】
- 【 日本らしさに配慮した計画 】
  - 【 環境計画 】
  - 【 構造計画 】
  - 【 建築計画 】
  - 【 基本図面 】

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 施設計画の概要 】

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
1	施設計画の概要 維持管理費抑制	03 16	金属屋根 日射反射率の高い屋根 塗装による熱負荷の軽減	屋根仕上げが金属屋根となっているが、具体的仕様が不明。また、太陽光からの光害の恐れがないか。	金属屋根について、周囲への光害の恐れは無いでしょうか。 無いと考える場合は、その理由を具体的にお示ください。	無
2	施設計画の概要	03	施設概要 延床面積192,363㎡ 容積率 170.07%	敷地面積113,039.62㎡、延べ床面積192,363㎡と記載しており、容積率は170.17%ではないか。	敷地面積113,039.62㎡に対し、延床面積192,363㎡と記載してありますが、容積率の記載に間違いはないでしょうか。 また、図面12/12の延べ面積194,010㎡との違いをお示ください。 さらに、各階床面積をお示ください。	無
3	施設計画の概要	03	施設概要 建物高さ 49.2m	49.2mは外苑西通り(TP+24.0m)からの高さであり、建築基準法上の高さがしめされていない。	建築基準法上の建物高さをお示ください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）

～技術的事項の確認～

【 業務の実施方針 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
4	業務の実施方針	04	4 日本の「ものづくり」の技を集結し高い技術力を持って業務要求水準書を確保します。  ②「担い手三法」を遵守したうえで、	なぜ「担い手三法」を遵守と記載しているのか不明(法を遵守することは当然のこと)	「担い手三法」を遵守することは当然のことと考えられますが、技術提案書に記載している理由(特に遵守すべきと考えている内容など)をお示しください。	無
5	業務の実施方針	04	民間企業である私共の裁量が及ばない事情への対処につきましては、発注者様、必要に応じて発注者様を通じて国、東京都他ご関係者の皆様のご協力を受け賜りたく、何卒よろしくご願ひ申し上げます。	どのような事情を想定しているか不明(通常の公法規制の他に何を想定しているかを確認。)	「民間企業である私共の裁量が及ばない事情への対処」とありますが、裁量が及ばない事情として、こういったものを想定していますか。具体的かつ網羅的にお示しください。  受注者が「裁量が及ばない」と判断された場合であっても、発注者、国等が「裁量が及ばない」とは判断できない場合には、当然のことながら、受注者がさらなる努力を行い、解決を図っていただく必要があることを理解されていますか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
6	業務の実施方針	05	<p>【不測の事態への対応】 受注者の最大限の努力を行っても遵守できない事態が万一生じた場合は、発注者のご協力を頂いたうえで、業務要求水準書等の変更や諸条件の見直しを含む対策を講じてまいります。</p>	受注者の最大限の努力の認識の確認	<p>「受注者の最大限の努力を行っても遵守できない事態が万一生じた場合は、発注者のご協力を頂いたうえで、要求水準書等の変更や諸条件の見直しを含む対策を講じてまいります」とありますが、本業務について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案書に記載されている事業費は、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第11条及び業務要求水準書第3章第5節2(1)の記載のとおり、受注者に遵守義務が課せられていることを理解されていると考えてよいですか。</li> <li>・提案書に記載されている完成期限は、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条及び業務要求水準書第3章第5節2(3)の記載のとおり、受注者に遵守義務が課せられていることを理解されていると考えてよいですか。</li> </ul> <p>また、これらに関し、「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」の点検等に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることを理解されていると考えてよいですか。</p>	無
7	業務の実施方針	05	<p>【不測の事態への対応】 事業点検実施者と発注者及び受注者が参加する「協議会」</p>	協議会は誰が主催し、何を確認するのか不明。(点検実施者が主体的に点検するのは分かるが)	点検実施者は関係会議に報告する必要な点検等を行うこととなります。点検等に当たっては、工程等に支障がないよう配慮しますが、必要な協力をお願いすることになりますが、その理解でよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
8	業務の実施方針	06	2-4 ① 事業期間を通じた「設計変更ルール」の設定	設計変更ルールをどのように認識しているかを確認	事業期間を通じた「設計変更ルール」の設定と関係者共有、確実な適用との記載がありますが、発注者は契約書等で設計変更に関わるルールを定めており、そのルールにより事務手続きを行います。そのため、このルールに従って行うこととなりますが、よろしいですか。	無
9	業務の実施方針	06	2-4 ③ 設計変更の整理開始は基本設計初期の「事前協議用資料確認以降」と考えます。	事前協議用確認資料とは？	設計変更の整理開始は基本設計初期の「事前協議用資料確認以降」と考えます。との記載がありますが、事前協議用資料の内容について、具体的にお示しください。	無
10	業務の実施方針	06	2-4 ③ 予想できないコスト増要因として、外的要因が想定されます。	外的要因とは？	「予想できないコスト増要因として外的要因が想定されます。」との記載がありますが、想定している外的要因について、具体的かつ網羅的にお示しください。	無
11	業務の実施方針	06	3 工事監理業務(先行作業)	仮承諾とは？	工事監理者の仮承諾は、受注者の責において自主的に行うものと理解してよろしいですか。なお、発注者の承諾は第Ⅱ期事業契約後の行為となります。	無
12	業務の実施方針	06	3-2 ④ ユニット配管工法採用による工期短縮の検討	ユニット配管工法について具体的な記載がないため確認する。	ユニット配管工法について、工法、施工範囲及び実現可能性について、具体的にお示しください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
13	業務の実施方針	06 07	4-1 ① 「共同企業体だけで改善が困難な場合は発注者に速やかに報告し、業務要求水準書の変更も含む改善策を検討させていただきます」  4-2 ② 「共同企業体だけで提案金額と完成期限の遵守が困難な場合は発注者に速やかに報告し、業務要求水準書の変更も含む改善策を検討させていただきます」		P.06の4-1①「共同企業体だけで改善が困難な場合」、P.07の4-2②「共同企業体だけで提案金額と完成期限の遵守が困難な場合」との記載がありますが、受注者が「困難である」と判断された場合であっても、発注者、国等が「困難である」とは判断できない場合には、当然のことながら、受注者が更なる努力を行い、解決を図っていく必要があることを理解されていますか。	無
14	業務の実施方針	06	4-1 ③ 総合図及び「工期を遵守するために必要な施工図」の先行作図を実施します。	承諾ルールの確認	総合図及び施工図の先行作図は受注者の責において自主的に行うものと理解してよろしいですか。なお、発注者の承諾は第Ⅱ期事業契約後の行為となります。	無



## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
15	業務の実施方針	06	4-3 施工計画の安全性の検証  近隣、一般通行車両、通行人等に対する工事上の影響を軽減する対策を講じます。	記載が定性的であり、現場説明書を上回る内容があるのか不明	「工事上の影響を軽減する対策を講じます」とありますが、現場説明書に記載されているもの以外の対策があれば、その内容について具体的にお示ください。	無
16	業務の実施方針	07	4-5 地球環境負荷の低減  ①法令遵守に加えて、自主的な環境負荷提言活動を実施	敷地内から敷地外へ建築副産物等を搬出する場合は、過積載とならないように工事車両の管理を徹底してほしい。	法令遵守ということから懸念される、過積載とならない工事車両の管理について対策を具体的かつ網羅的にお示ください。	無
17	業務の実施方針 別紙様式4	07  1/3～2/3	4-6 工事中のセキュリティ管理	テロ対策等についての記載なし。 「建設現場における警備内容」に基づく警備費用が計上されているか不明。	別紙様式4の建設工事費のうち「建設現場における警備内容」に基づく警備に関する提案事業費について、当該費用の金額及び計上している項目名をそれぞれお示ください。	無
18	業務の実施方針	08	都市計画・行政WT	タイトな行政協議スケジュールを技術支援の「都市計画・行政協議WT」の体制でよいのか。 共同企業体技術支援部門との関係が分からない。 (都市計画、建築、土木の職種が担当者としているのか。道路、警察は土木技術者がポイント。)	行政協議は誰が責任者で、どのような職種(都市計画、土木、造園など)で構成され、何人体制なのかお示ください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
19	業務の実施方針	08	1 最高運営会議の開催運営 2 総合定例会議(関係者協議会)の開催運営 3 設計変更協議会の開催運営 4 別途工事・オーバーレイ工事調整会議の開催運営	会議体制の主体が発注者または受注者なのか不明確な為、確認する。	技術提案書の『第Ⅰ期・第Ⅱ期を通してのプロジェクト体制(表)』に記載のある会議体には最高運営会議、総合定例会議、設計変更協議会及び別途工事・オーバーレイ工事調整会議を想定されていますが、各会議体の運営責任者をお示ください。また、上記会議体を統括する方は、統括代理人との認識でよろしいですか。	無
20	業務の実施方針	08	4 別途工事・オーバーレイ工事調整会議の開催運営 「調整について発注者に協力します。」	協力業務が事業費に含まれていることの確認	別途工事・オーバーレイ工事調整会議についての発注者への協力は、事業協定書第13条に基づき、提案事業費に含まれていると考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

**【 事業費 】**

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
21	技術提案書	全般	提案の事業費	業務要求水準書の事業費の内容を理解しているかが不明なため、確認する。	<p>①提案書に記載されている事業費は、質問回答248の回答にあるように、「発注者及び受注者は、新国立競技場の整備プロセスについて、『新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議』の点検を受けることとなるため、事業費の取扱いについては、慎重な検討及び対応が必要」となるものであることを理解した上で、設定されているものと考えてよいですか。</p> <p>②上記に関連して、「新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議」の点検に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>③提案書に記載されている事業費は、質問回答248の質問内容にあるような「あくまでも提案者の想定するプラン・仕様に基づき、その時点の価格で工事を施工した場合の金額であり、いずれの時点においても、工事内容に追加変更があった場合、法令の改正(消費増税も含む)、行政指導、不可抗力、物価上昇の他、受注者に正当な理由がある場合には、この上限額に限らず、受注者が要する費用については、請負代金の増額の対象」とは必ずしもならないことを理解した上で設定されていると考えてよいですか。</p> <p>④提案書に記載されている事業費は、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第11条及び業務要求水準書第3章第5節2(1)の記載の通り、受注者に遵守義務が課せられていることを理解されていると考えてよいですか。</p>	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
22	別紙様式4	1/3	具体的取組※1-1.1 土工・地業「フィールド施工基面の土間コンクリート化」	フィールド施工基面 土間コンクリートの活用とあるが性能が確保されているかの確認	躯体工事の重機地盤を兼ねることになっていますが、仮設時にひび割れ等劣化が生じた場合、本設仕様に修復する費用は提案事業費に含まれていると考えてよろしいですか。 また、フィールド施工基面を土間コンクリートで構築する際の排水能力の設定条件、土間コンクリート仕様をお示しください。	無
23	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.1 土工・地業「フィールド施工基面の土間コンクリート化」	土間コンの割れ・膨張等の対策費用は計上されているか、フィールドへの影響は検討されているか	フィールドへの影響が考えられる、割れ・膨張等の対策費用は、提案事業費に含まれていると考えてよろしいですか。	無
24	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.1 土工・地業「フィールド施工基面の土間コンクリート化」	同上(揚重機500～600tに耐えるスラブ厚) 仮設敷き鉄板を土間コンクリートとする計画は、上記の問題に加え、工期及びコスト的に不利であると考え(土間コンクリートを取りやめると残土処分が縮減される)	仮設の敷き鉄板を土間コンクリートとする計画は、工期面及びコスト面から不利に働くと考えますが、土間コンクリートを採用とする計画の合理性をお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
25	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.2 構造躯体「品質・施工性・コストを総合的に考慮した設計」	総合的に考慮の判断基準及びコストアップとなっている部位の判断が必要(提案事業費に影響する項目があるのかの確認のため)	プレキャスト部材の設計に際し、品質・施工性・コストを総合的に考慮するとのことですが、それぞれのプレキャスト部材の採用理由をお示してください。	無
26	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.2 構造躯体「鉄骨梁材の一部電炉材の使用」	構造体の靱性能の確認	鉄骨梁材に一部電炉材の使用とありますが、採用する部位、基準・条件をお示してください。	無
27	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.4 外部内部仕上「下部空間への特性を踏まえ乾式工法」	トイレの防水工法の区分けが不明である。	下部空間への特徴を踏まえて乾式工法とありますが、具体的な区分け方針をお示してください。また、乾式とする場合の下部空間への漏水の対策をお示してください。	無
28	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.4 外部内部仕上「エアレーションシステム中止」	中止の根拠として十分かどうか確認。また、必要となった場合の事業費の考え方を合わせて確認。(業務要求水準書では可能な限り検討のうえで、条件を満たさない場合は補助システムを導入することになっています)	エアレーションシステムを中止とありますが、検討の結果必要と発注者が判断した場合は、提案事業費の中で設置するということによろしいですか。	無
29	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.4 外部内部仕上「階高、階段寸法の統一化」	天井高、階段寸法が各種基準、規定を満足していることの確認	各室の天井高さや階段寸法は、各種基準・規格等(車椅子の避難計画等も含む)を満足された提案とと考えてよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
30	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.4 外部内部仕上「コンコースの天井を極力直天」	業務要求水準書に抵触しているため、事業費内の対応を確認	コンコースの天井仕上げを極力直天井仕上げと提案されていますがコンコースは、天井有が業務要求水準書となっています。どのような対応をお考えですか。 また、提案事業費の中で業務要求水準書を満足する(天井有り)対応をするものと考えてよろしいですか。	無
31	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.4 外部内部仕上「建具の納まりを簡素化」	簡素化の内容、程度を確認	簡素化により安全性・防犯対策等についても配慮されたものと考えてよろしいですか。また、簡素化の具体的な内容をお示してください。	無
32	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 1.5 その他「グレードに応じた座席仕様」	観客席のグレード(区分け含む)の確認	グレードに応じた仕様とするの事ですが、仕様を決定するための判断基準やベースとなる品質・規格をお示してください。また、グレードの分類についても合わせてお示してください。	有 (A4版1枚、様式自由)

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
33	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 2.1 電力設備「電源区分の適切な分割による資機材の縮減」	電源区分の分割内容が問題ないを確認(提案事業費に影響する項目があるのかの確認のため)	「電源区分」、「適切な分割」及び「資機材の縮減」について、具体的な内容及び考え方について、お示しください。	無
34	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 2.1 電力設備「規格品及び汎用品」	汎用品とは、規格品以外を使用するとも受け取れるため	規格品及び汎用品の積極的採用としていますが、汎用品とは、どのようなものをお考えかお示しください	無
35	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 2.1 電力設備「照明人感センサー(独自技術の採用)」	独自技術の具体的な内容・性能及びコスト縮減効果が不明のため確認	照明人感センサーの独自技術について、一般的な器具と比べて、事業費削減の効果をお示しください。	無
36	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 2.2 通信情報設備「通信情報設備区分の適切な分割による資機材の縮減」	通信情報の分割内容が問題ないを確認(提案事業費に影響する項目があるのかの確認のため)	「情報通信区分」、「適切な分割」及び「資機材の縮減」について、具体的な内容及び考え方について、お示しください。	無
37	別紙様式4	1/3	具体的取組※1 2.2 通信情報設備「弱電設備ラックの統合」	具体的な統合の方針が不明につき確認	統合する弱電ラックを具体的にお示しください。	無
38	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.1 土工・地業	フィールド工事費の計上箇所の確認。	フィールド工事(補助設備含む)はどの項目に計上されているかをお示しください。また、計上されている金額を合わせてお示しください。	無



## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
39	別紙様式4	1/3～2/3	提案事業費※2 「渋谷川の再現」 (水辺の里庭)	渋谷川の再現の工事費の計上箇所の確認	水景(渋谷川の再現等)の費用がどの項目に計上されているかをお示ください。 (例:外構工事 建築工事)	無
40	別紙様式4	1/3～2/3	提案事業費※2	人工地盤工事の費用を把握するため	人工地盤工事(外構、植栽は除く)にかかる費用について、建築工事、機械設備工事、電気設備工事のそれぞれの内訳金額をお示ください。合わせて、それぞれの金額が提案事業費のどの項目に含まれているかお示ください。	無
41	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.1 土工・地業	既存杭の撤去と地盤改良に関して提案事業費に全て含まれていることの確認	既存杭の撤去費及び地盤改良費に関して過不足なく提案事業費に含まれていると考えてよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
42	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.1 土工・地業	残土と埋戻しの費用について、提案事業費での実現性の担保の確認。	残土処分及び現場内転用(有効活用)、埋戻しの為に必要とする費用に関しては、提案事業費に全て含まれると考えてよろしいですか。	無
43	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.2 構造躯体	工法設定の根拠についての確認 (構造形式について相互質問)	スタンドの構造形式としてS造の提案となっておりますが、他の構造形式:RC造(PC含む)等に対するご提案のメリットについて、コスト、工期、調達の観点からお示しください。	無
44	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.3 屋根	屋根工事の揚重に関する事業費への計上の方法	屋根工事に係る揚重用重機の費用は、事業費提案書別紙様式4のどの項目に含まれているかお示しください。	無
45	別紙様式4	1/3	提案事業費※2 1.5 その他	観客席に設置する安全手摺の仕様、事業費への計上の方法の確認	観客席に設置する安全手摺の費用は、事業費提案書別紙様式4のどの項目に含まれているかお示しください。また、手摺の仕様についても合わせてお示しください。	無
46	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 5.1 外構工事 建築工事	ピット計画への影響が大きいため、雨水貯留槽の配置位置の確認(図面から読み取れないため)	雨水貯留槽の設置位置はスタジアム本体下部に設置されていると考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
47	別紙様式4 参考添付資料	1/3～2/3 参06	提案事業費※3 [redacted]	[redacted]との関係が不明瞭。	[redacted]	無
48	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 II. 電波障害対策費、各種負担金等	各種負担金に [redacted] 確認	事業費提案書に記載された金額に関して、細目とそれぞれの金額(記載金額の内訳)をお示ください。	無
49	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 II. 電波障害対策費、各種負担金等	電波障害対策調査費の確認	電波障害対策に関する調査費用(事前、工事中、建方終了時)は提案事業費に含まれることよろしいですか。	無
50	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 共通仮設費	共通仮設費の金額大きいため、内容の確認	事業費提案書 別紙様式4 共通仮設費の内訳に関して、揚重に関する費用、現場防犯対策に関わる費用としてそれぞれの計上している金額をお示ください。また、上記以外で特殊な積み上げ項目があれば、合わせて項目と金額をお示ください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
51	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 その他共通費	事業費遵守の方策が業務要求水準書の見直しのみとの記載となっているため、余裕度を設ける対策が検討されているかを確認	物価変動等をはじめ、コスト管理における不確定要素(関係団体からの変更要望等による業務要求水準書変更は除く)に対して、提案事業費内で完済するために見込まれている予備金額(不確定対策費等)がありましたら、計上されている項目と金額をお示ください。	無
52	別紙様式4	2/3	提案事業費※2 その他共通費	現場管理費の十分に確保されているかを確認	事業費提案書 別紙様式4 その他共通費に記載の金額の内、現場管理費と一般管理費の金額をそれぞれお示ください。	無
53	別紙様式4	3/3	提案事業費※2 工事施工等業務費	設計段階の工事施工等業務費の金額と業務内容の妥当性等を確認	事業費提案書 別紙様式4 設計・監理費のIV工事施工等業務費について、具体的な業務内容及びそれにかかる費用の配分、及び成果品のイメージをお示ください。	有
54	別紙様式4	3/3	施設概要 Ⅲ. 設計業務費(基本設計、実施設計) 追加業務(標準外) (透視図作成、風洞実験模型、モックアップ、他)	発注者が指定しているもの以外で製作を想定しているものがあるか確認したい。	発注者が指定しているもの以外で製作を想定しているものがあれば、そのモックアップの種類、規模等の詳細をお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
55	事業費	10 11等	発注者と受注者間の協議	[redacted] ための確認	<p>①「発注者と受注者間の協議」に関する記載が多数見られますが、本業務において、提案事業費の変更について、発注者と受注者が協議を行うのは、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第11条の記載のとおり、受注者が最大限の努力を行い(第2項)、受注者が自らの努力のみでは合理的に要求水準を満たすことができず、その変更が必要と認める場合に、要求水準の変更提案を行い、発注者と協議する(第3項)ものであることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>②また、これらに関し、協議の前提として受注者が最大限の努力を行ったか否か、要求水準の変更提案が適切なものか否かについては、当然のことながら、発注者が判断を行い、合意する必要があるものであることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>③加えて、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第11条第5項の記載のとおり、協議の過程及び結果について公表することがあり、また、「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」の点検等に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることを理解されていると考えてよいですか。</p>	無
56	事業費	10	東京体育館の改修コストの最小化を目指す	具体的な協議イメージはあるのか。最小化できない場合の対応は。	改修工事とは施設管理者と受注者で協議をして行うこととなりますが、工事内容と工事費をお示ください。また、改修工事は提案事業費の範囲内で実施すると理解してよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
57	事業費	11	1-4 事業期間を通じた共通のコスト管理手法  事業費の提出毎に、事業費が提案金額を超過した場合...	設計変更等がないにも関わらず事業費の提案金額超過に伴う業務要求水準書の減額等は認められていない。	「事業費の提出毎に、事業費が提案金額を超過した場合、(略)発注者と早期に協議します」とありますが、単に事業費が超過したことをもって業務要求水準書の変更等を行うことは認められません。変更指示等がない場合は、受注者としての事業費の想定が提案額を超過した場合でも、業務要求水準書変更等は行わないと考えてよろしいでしょうか。	無
58	事業費	11	1-4 事業期間を通じた共通のコスト管理手法  工事費には、代表企業固有の最新積算単価を反映します	どの程度のアップ率となるのか不明	「工事費には、代表企業固有の最新積算単価を反映します」とありますが、過去5年間の変動率(本事業の代表的な工種)をお示ください。	無
59	事業費	11	1-5A 各プロセスにおける管理手法「工期や施工計画の前提条件について、発注者に説明し、双方で確認します」	の確認	工期や施工条件については契約に基づく内容になります。提案書に記載の条件と異なる場合(一部、認められない内容など含む)、どのような対応になるかお示ください。	無
60	事業費	12	2 実施設計段階のコスト管理手法 「確認申請の指摘について～「設計変更協議会」の検討事項とします」	行政指導に関する認識の確認	確認申請の指摘は法令遵守の為の指摘であり、実施設計段階で反映させるための指摘であると考えます。これは、設計者が対応し、発注者の了解を得るものであり、要求水準の変更の対象とするものではないことを理解されていると考えてよろしいですか。	無
61	事業費	12	3 工事段階のコスト管理手法 「毎年行われる積算基準の改定等の情報を確実に把握し、積算に活かします。」	契約後、積算基準が改定されたとしても、契約済工事に適用されることはないため	積算基準の改定等の情報を確実に把握し、積算に活かします。」とありますが、発注者と価格協議するための資料とするのか、活用方法についてのお考えをお示ください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
62	事業費	12	3 工事段階のコスト管理手法  他物件との連携を図り、掘削土の有効活用を図ります	具体的に規定している現場があるのか、単に一般論なのか不明	「他物件との連携を図り、掘削土の有効活用を図ります」とありますが、具体的に連携を規定している物件の住所、受入れ可能時期、受入れ量等をお示しください。	無
63	事業費	10	3-3 メンテナンス性への配慮・耐久性の確保	「全周に可動式メンテナンスゴンドラを配置し、点検・メンテナンスを容易にします」とあるが、競技用照明、競技用音響、ワイヤーカメラなどのAV機器及び垂れ幕などの吊り物との対応が不明確	可動式メンテナンスゴンドラによる競技用照明、競技用音響、ワイヤーカメラなどのAV機器及び垂れ幕などの吊り物の点検・メンテナンスの方法及び干渉しないための工夫についてお示しください。	無
64	事業費	10	3-6 都市計画の対応等  「供用中の主要道路」という特性に配慮した施工内容	具体的配慮内容が不明	「供用中の主要道路」という特性に配慮した施工内容」とありますが、配慮内容について具体的かつ網羅的にお示しください。	無
65	事業費	12	4-1 基本設計段階でのコスト変動抑制策  各種団体からの要望に対する対応については、2016年3月までに決定することとします	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 1em; margin-bottom: 5px;"></div> その後の対応が柔軟にできるか確認要	「各種団体からの要望に対する対応については、2016年3月までに決定することとしますが、受注者は、決定するのに必要な資料等について適切に対応していただけると考えてよろしいですか。 また、2016年3月を超えて各種団体からの要望があった場合も、原則として提案事業費及び提案工期内で適切に対応していただけると考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
66	事業費	12	4-1 基本設計段階でのコスト変動抑制策「構造躯体に大きな影響を与える要望事項については、基本設計着手時までに協議し、確定するものとします。」	のため の確認	基本設計着手時までに協議することは困難であり、確定ができない場合はどのような対応となるかお示ください。また、その場合のコスト抑制策について、具体的かつ網羅的にお示ください。	無
67	事業費	12	4-4 ユニバーサルデザインワークショップからの変更要望  ユニバーサルデザインワークショップでの協議内容は技術提案におけるコストへの影響はないことを前提とします。	ユニバーサルデザインワークショップでの協議内容を設計に反映してもらう必要がある。	業務要求水準書には、「ユニバーサルデザイン・ワークショップを開催し、関係者の意見を集約した上で業務を進める」と記載しているため、コストへの影響が無いことを前提としているものとは言いきれず、ユニバーサルデザイン・ワークショップ協議内容は、提案事業費内で設計・施工に反映されると理解してよろしいですか。	無



事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 工 期 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
68	技術提案書	全般	提案の完成期限	業務要求水準書の完成期限の内容を理解しているかが不明なため、確認する。	<p>①提案書に記載されている完成期限は、質問回答266の回答にあるように、「発注者及び受注者は、新国立競技場の整備プロセスについて、『新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議』の点検を受けることとなるため、完成期限については、慎重な検討及び対応が必要」となるものであることを理解した上で、設定されているものと考えてよいですか。</p> <p>②上記に関連して、「新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議」の点検に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>③提案書に記載されている完成期限は、質問回答266の質問内容にあるような「いずれの時点においても、設計業務委託契約基準第23・工事請負契約基準第21・工事監理業務委託契約基準第19に定めのある事項に該当する場合は、完成期限にかかわらず、履行期間・または工期延長の対象」とは必ずしもならないことを理解した上で、設定されているものと考えてよいですか。</p> <p>④提案書に記載されている完成期限は、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条及び業務要求水準書第3章第5節2(3)の記載の通り、受注者に遵守義務が課せられていることを理解されていると考えてよいですか。</p>	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
69	別紙様式5	1/1	<p>工程成立条件、工程条件には、受発注者の努力のみでは実現できないものも含まれています。それらが実現できない場合であっても、完成期限は遵守されるものと理解してよろしいですか。</p>	<p>工程成立条件及び工程条件に変更が生じた場合においても工期が遵守されることを確認。</p>	<p>①工程成立条件、工程条件には、発注者及び受注者の努力のみでは実現できないものも含まれています。それらが実現できない場合であっても、完成期限は遵守されるものと理解してよろしいですか。</p> <p>②本業務において、完成期限に関して、発注者と受注者が協議を行うのは、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条の記載の通り、受注者が最大限の努力を行い(第6項)、受注者が自らの努力のみでは合理的に完成期限を遵守できず、要求水準の変更が必要と認める場合に、要求水準の変更提案を行い、発注者と協議する(第7項)ものであることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>③また、これらに関し、協議の前提として受注者が最大限の努力を行ったか否か、要求水準の変更提案が適切なものか否かについては、当然のことながら、発注者が判断を行い、合意する必要があるものであることを理解されていると考えてよいですか。</p> <p>④加えて、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条第8項に記載の通り、協議の過程及び結果について公表することがあり、また、「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」の点検等に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることを理解されていると考えてよいですか。</p>	<p>無</p>

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
70	別紙様式5	1/1	本体工事着工前に先行予定の関連工事を確実に完了し、オーバーレイ工事の円滑な工程調整を目的として当共同企業体が施工することを提案します。		先行実施する関連工事やオーバーレイ工事について、貴共同企業体を実施しない場合でも、技術提案書記載の事業費及び完成期限は遵守されるものと考えてよろしいですか。	無
71	別紙様式5	1/1	<工程成立条件>①	同上	施工前に先行実施する関連工事のスケジュールは、質問588の回答のとおり、平成28年末までに完了することを予定しています。先行実施する関連工事と準備工事の工事期間・範囲が重複した際は、先行実施する関連工事を優先させますが、その場合でも、技術提案書記載の事業費及び完成期限は遵守されるものと考えてよろしいですか。	無
72	別紙様式5	1/1	<<工程成立条件>>③	鉄骨、PCaの公道上運搬について一部夜間とする範囲、考え方を確認する必要がある。	鉄骨、PCaの夜間搬入については、警察署の指導等、真にやむを得ない事情によるものに限られると理解してよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
73	別紙様式5	1/1	《工程成立条件》④		新国立競技場整備事業(第Ⅱ期)現場説明書の施工条件3(1)の施工条件とした場合においても、技術提案書記載の事業費及び完成期限は遵守されるものと考えてよろしいですか。	無
74	別紙様式5	1/1	《工程成立条件》⑤	既存杭の取り扱いの確認	工程成立条件では、計画に支障がない既存杭は残置するとの記載がありますが、別紙様式5上、既存杭撤去の工程が示されていないことから、杭の撤去はないものと考えてよろしいですか。 なお、既存杭の撤去がある場合は、いつ、どのくらいの工期を見込んでいますか。	無
75	別紙様式5	1/1	《工程条件》 ・関係諸官庁や競技団体等との協議に時間を要する場合があるため、初期の段階から発注者のご協力を頂けるものとします。		発注者の協力とはどのような協力が、具体的かつ網羅的に示して下さい。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
76	別紙様式5	1/1	《工程条件》	受注者が最大限の努力を行った上での協議であることの確認。	<p>①受注者の業務範囲外の廃道手続き等が当初予定から遅延の恐れが生じた時点で要求水準書等及び技術提案の変更を発注者と協議し、との記載がありますが、発注者と受注者が協議を行うのは、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条の記載の通り、受注者が最大限の努力を行い(第6項)、受注者が自らの努力のみでは合理的に完成期限を遵守できず、要求水準の変更が必要と認める場合に、要求水準の変更提案を行い、発注者と協議する(第3項)ものであることは理解されていると考えてよいですか。</p> <p>②また、これらに関し、協議の前提として受注者が最大限の努力を行ったか否か、要求水準の変更提案が適切なものか否かについては、当然のことながら、発注者が判断を行い、合意する必要があるものであることは理解されていると考えてよいですか。</p> <p>③加えて、新国立競技場整備事業に関する事業協定書第12条第8項に記載の通り、協議の過程及び結果について公表することがあり、また、「新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議」の点検等に際しては、受注者としての説明責任を果たす必要があり、誠実に対応いただく必要があることは理解されていると考えてよいですか。</p>	無
77	工期	13	1-2 行政手続きの実施体制と手続き 行政指導、同意事項を継承活用	限られた期限内での行政手続きの履行確実性と工期の確認 技術提案による計画案は建物計画が異なるので、新たな協議事項、同意事項は必ず発生。	<p>技術提案による計画書は、建物計画が異なるため、新たな協議事項、同意事項は必ず発生すると思われます。</p> <p>また、総じて行政手続きが短いと思われませんが、その期間で実施できる根拠を具体的にお示ください。</p> <p>さらに、行政手続きが遅延した場合においても、技術提案書記載の事業費及び完成期限は遵守されるものと考えてよろしいですか。</p>	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
78	工期	14	主要工種歩掛り表	設計の進捗に伴う施工数量の増加が提案完成期限に影響しないことを確認	工程表の中に示された「主要工種歩掛り表」の歩掛りについては参考であり、設計の進捗に伴う施工数量の増加した場合においても、技術提案書記載の完成期限は遵守されるものと考えてよろしいですか。	無
79	工期	14	歩行者デッキ1号と2号の工事時期	歩行者デッキ1号と2号は工期末の工事と想定。工期半ばでつくる理由(敷地外は後工事と思われるが。)	歩行者デッキ1号、2号は竣工間隙ではなく、提案時期に行う合理的な理由は何ですか。	無
80	工期	15	山留・土工事・地盤改良工事	搬出入ゲートの設置は、道路管理者との協議により決定されるものであり、今後の協議によっては、必要なゲート数が確保できないことがある。	「搬出入ゲートを8か所(全体11か所)配置し」とありますが、搬出入ゲートの位置及び箇所数については、道路管理者や所轄警察署等との協議により決定されるため、現時点において確定したものではないと理解されていると考えてよいですか。また、搬出入ゲートの位置及び箇所数に変更があった場合でも、技術提案書記載の完成期限を遵守されるものと考えてよろしいですか。	無
81	工期	15	STEP0,1-3 フィールドの先行工事	先行工事の施工箇所について、あと工事への影響がないかを確認する。	雨水配管の先行工事の施工箇所について、完成後に通水障害が発生した場合の対策について、具体的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
82	工期	15	STEP4 8 ペDESTリアデッキ工事 「ペDESTリアデッキの床に 構造補強を施し、重機の設 置が可能な計画」	ペDESTリアデッキの床に構造補強を施し、重機 の設置が可能な計画	本補強について、提案事業費に含まれているのか お示してください。含まれている場合、計上した価格と 本計画としなければならない理由について、具体的 にお示してください。	無



事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

**【 維持管理費抑制 】**

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
83	維持管理費抑制	16	1 高耐久な仕上の採用とメンテナンスに配慮した環境とすることで長寿命化を図ります	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	維持管理費抑制に係る以下の提案について、業務要求水準書性能を標準案として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新、点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示してください。 1 屋根鉄骨部への溶融亜鉛めっき仕上げの採用 2 屋根木材部を高耐久性木材の採用 3 屋根トラス下に移動式メンテナンスゴンドラを設置 4 「風の大庇」へのアルミルーバーの採用 5 屋根仕上材へのステンレス塗装鋼板の採用 6 屋根トップライトの安全性・清掃性に配慮 7 風雨にさらされる外部の構造躯体の長寿命化 8 止水性と耐久性を持続する観客席の斜め梁へのSRC梁の採用 9 地下外周擁護壁設置によりスタンド躯体の健全性を保持 10 軒庇木部への高耐久木材の採用	無
84	維持管理費抑制	16	1-3 屋根トラス下に移動式メンテナンスゴンドラを配置  ゴンドラは、中央で二分割し、屋根仕上材、屋根構造体(鉄骨、木)など点検歩廊からではアクセスのしにくい部分の点検やメンテナンスを容易にします。	ゴンドラ二分割の意図の確認	屋根トラス下の移動式メンテナンスゴンドラについて、ゴンドラは中央で二分割し屋根仕上材、屋根構造体(鉄骨、木)など点検歩廊からではアクセスのしにくい部分の点検やメンテナンスを容易にすると記載がありますが、ゴンドラを二分割するメリットを具体的にお示してください。 また、移動式ゴンドラの駆動方式をお示してください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
85	維持管理費抑制	16	1-6 屋根トップライトの安全性・清掃性に配慮  散水用の給水設備を付近に設置し清掃性にも配慮します。	散水用給水設備設置の意図の確認	屋根トップライトの清掃について、散水用の給水設備を付近に設置し清掃性にも配慮と記載がありますが、散水用給水設備は、屋根トップライト上面用として計画しているものか具体的にお示しください。また、屋根トップライト上面へのメンテナンスルート確保、作業安全対策の計画を具体的にお示しください。	無
86	維持管理費抑制	16	2 樹種選定や植栽配置を工夫し、植栽の保全維持管理費を抑制します	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	維持管理費抑制に係る以下の提案について、業務要求水準書性能を標準案として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新、点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示しください。  11 維持管理が容易な樹種を建物上部植栽に選定 12 「空の社」植栽の配置の工夫による維持管理費の抑制 13 防風・転倒対策により安全性を確保 14 軒庇上部植栽のユニット化による更新性向上 15 外構樹木の大地への植栽による健全な育成の確保 16 「大地の社」植栽散水用の井戸の設置	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
87	維持管理費抑制	16	2-13 暴風・転倒対策により安全性を確保  ワイヤーによる一時的な固定や株立ちの採用など、耐風性をより高める方法を検討します。	耐風性の具体的検討項目を確認	植栽の防風・転倒対策について、耐風性をより高める方法を検討すると記載がありますが、具体的にどのような検討を行うのかお示ください。	無
88	維持管理費抑制	16	2-14 軒庇上部植栽のユニット化による更新性向上	セキュリティ上の課題、工事完了後の事業の継続性を要確認。	工事中に、一般者が立ち入ることによるセキュリティ上の課題についてどう考えているのかお示下さい。 また、工事完了後、庇上に設置したプランターユニットに対する維持管理上の配慮や安全性についてお示ください。	無
89	維持管理費抑制	16	2-14 軒庇上部植栽のユニット化による更新性向上  3階～5階の軒庇上部の植栽は幅約0.6m、長さ1mの植栽ユニットとし、	パースの植栽ユニットの緑が完成時に現実的な量(見え方)なのか不明。	基本図面(1/12)で示された大会時のイメージパースと30年後のイメージパースでは、植栽ユニットの見え方に差異は無いと思われるが、ユニット側面も緑化されていると考えてよいか。 また、挿絵には「手で運べる」とあるが、強風時の落下等に対する考え方をお示ください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
90	維持管理費抑制	16 17	3 自然エネルギーを有効に利用し芝育成に必要な維持管理費を抑制します	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	維持管理費抑制に係る以下の提案について、業務要求水準書性能を標準案として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新、点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示しください。 17 維持管理が容易な夏芝の導入 18 トップライト採用により補光設備の運転時間を低減 19 維持管理費を低減する季節風の積極的な導入 20 フィールドの天然芝の育成 22 土壌水分量を均一にする基盤構造と均等散水設備の整備 23 継続的な天然芝の健全な育成確保	無
91	維持管理費抑制	16 17	3 自然エネルギーを有効に利用し芝育成に必要な維持管理費を抑制します	芝育成の観点から、以下の提案内容が最適と判断した考え方を具体的かつ網羅的にお示しください。 芝育成の観点から、以下の提案内容が最適と判断した考え方を具体的かつ網羅的にお示しください。	芝育成の観点から、以下の提案内容が最適と判断した考え方を具体的かつ網羅的にお示しください。 17 維持管理が容易な夏芝の導入 18 トップライト採用により補光設備の運転時間を低減 19 維持管理費を低減する季節風の積極的な導入 20 フィールドの天然芝の育成 22 土壌水分量を均一にする基盤構造と均等散水設備の整備 23 継続的な天然芝の健全な育成確保	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
92	維持管理費抑制 参考添付資料	16 参04	3-18 トップライト採用により補光設備の運転時間を低減  ピッチ(芝)に自然光が多く取り込めるよう屋根の南側にはトップライトを配し、	参考添付資料において屋根材料の比較が示されているが、反射、波長、強度や落下防止への配慮についても明確にすべき	屋根材における材料比較において、反射、波長、強度や落下防止への配慮についての検討結果について具体的にお示しください。	無
93	維持管理費抑制	17	3-23 継続的な天然芝の健全な育成確保  土壤空気交換システムなしでも芝の育成管理が可能な計画	土壤空気交換システム(エアレーションシステム)なしでも芝の育成管理が可能とする具体的な根拠を確認	土壤空気交換システム無しでも、芝の育成管理が可能とする具体的な根拠についてお示しください。	無
94	維持管理費抑制	17	4 将来のイベント規模に応じた部分使用が可能な計画とすることで維持管理費の削減を実現します	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	維持管理費抑制に係る以下の提案について、業務要求水準書性能を標準案として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新、点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示しください。  24 約90%のイベントを1層スタンドのみで運営可能とすることで維持管理費を削減 25 さらに1層スタンドは4分割できる計画とし、維持管理費を削減 26 客席ゾーン、階層ごとに設備系統を分離し、省エネルギー省メンテナンスを実現 27 単独動線により個別に管理できる5階「空の社」	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
95	維持管理費抑制建築計画	17 30	4-27 単独動線により個別に管理できる5階の「空の杜」  4-9 外部から視覚化された、「空の杜」への動線計画	外部から直接アクセスできるルートが何箇所か不明。 「空の杜」日常利用の記載があるが、運用方法とセキュリティの考え方が不明。	5階の「空の杜」について、外部からのアクセス動線(階段、エレベーター等)を具体的にお示しください。 また、日常時、大会時の運用方法とセキュリティは、どのように考えているのですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
96	維持管理費抑制	17	5 設備システムの適切化により、光熱水費や管理コストを削減するとともに更新性に配慮します	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	<p>維持管理費抑制に係る以下の提案について、業務要求水準書性能を標準案として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新、点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示しください。</p> <p>28 未利用エネルギーである下水熱を芝育成熱源に利用                  29 個別空調と中央熱源空調のベストバランス化                  30 待機電力及び変圧器無負荷損失を削減                  31 機械式駐車設備費用の無い平面駐車場の駐車場計画                  32 シースルー薄膜太陽電池の採用による自然エネルギーの利用                  33 主要設備機器の最適運転制御による光熱費の削減                  34 管理の縦動線を各エリアごとに集約配置し、維持管理の主機能を南側に集約                  35 安定、迅速な供給を可能にする国産メーカー汎用品の採用                  36 仕上材等への汎用品・標準品の採用                  37 メンテナンス・更新性に配慮した設備スペース                  38 非常用エレベーターを5階まで着床させ、屋根に設ける設備機器更新を省力化</p>	無



## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
97	維持管理費抑制	17	6 竣工後も適切なタイミングで運用を支援し将来の様々なニーズに対して迅速に対応します	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、運用支援面での想定される効果が不明確なため	竣工後の運用支援について、施工中の長期修繕計画立案/更新作成は、項目により有償となっておりますが、どのような内容を想定しているのか、具体的にお示しください。 また、施工中の「維持管理効率化の検討」及び、完成引き渡し後の「定期点検」、「24時間緊急対応(AS24)」はどのような内容を想定しているのか、併せて具体的にお示しください。	無
98	維持管理費抑制	16 17	施設全体の維持管理抑制について	維持管理費を抑制させるための設計における具体的方策として、想定される効果が不明確なため	本事業で整備を行う施設全体として、イニシャルコスト、ランニングコスト(更新・点検・修繕、人件費等含む)の比較による運用50年間のライフサイクルコストを金額でお示しください。 なお、ライフサイクルコスト低減を比較する際の標準案は業務要求水準書を基準としてください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 その他 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
99	建築計画 基本図面	30 08	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted] [Redacted] [Redacted] どのように考えていますか。	無

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 ユニバーサルデザインの計画 】

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
100	ユニバーサルデザインの計画	18	1-2 安全でフラットな水平移動を実現  ・敷地内経路、各階コンコース、諸室への動線等、各フロア内の水平移動は段差のないフラットな計画にすることで、様々な人が快適にアクセスできる計画とします。	動線においてフラットな計画を提案しているが、3層スタンド出入口に階段がある。フラットな計画という大きな方針とスタンド出入口の段差について確認する必要がある。	動線上の安全性を高めるために、フラット化の方針を提案していますが、一部スタンド出入口に階段があるように見受けられます。フラット化という大きな方針と、観客の出入りが頻繁に行われるスタンド出入口部の階段について、方針と計画の差異がある場合は、その理由をお示しください。	無
101	ユニバーサルデザインの計画	18	2-3 感動の瞬間を分かち合えるサイトライン計画  ・従来の車いす席計画は、前列の人が着席時のサイトラインを確保することが一般的でした。そのため、前列の人が立った場合、決定的な瞬間を見逃してしまうケースがありました。今回の提案では、2～3段分のせり出しを常設で計画することで、前列の人が立ちあがった状況でもサイトラインを確保し、得点シーンなどを見逃すことなく、感動の瞬間を分かち合うことが出来ます。	車いす席のサイトライン計画は、VVIP席等で車いすを使用する人にも当てはまります。また、一般観客とは異なり頻繁に立ち上ることが無いVVIPの観客にも同様の観点でサイトラインを計画する必要があります。従って、VVIP席でも同様の配慮がされているか確認する必要があります。	車いす席のサイトライン計画は、VVIP席等で車いすを使用する人にも当てはまります。また、一般観客とは異なり頻繁に立ち上ることが無いVVIPの観客にも同様の観点でサイトラインを計画する必要があります。VVIP席でも車いす席と同様なサイトライン計画をされていることをお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
102	ユニバーサルデザインの計画 建築計画	18 31	2-1 どこからでも観戦可能な車いす席配置計画 一般観客席の車いす席(パラリンピック競技大会追加席)2層スタンド  6-3 12台の非常用エレベーター及び一時退避スペースによる安全性の高い車いす席の避難計画	パラリンピック競技大会時には、2層スタンドに多くの車いす席を追加することとなっていますが、避難計画や法的な観点から問題はないのか確認が必要。	パラリンピック競技大会時には、2層スタンドに多くの車いす席を追加することとなっていますが、法令上、避難計画上等の問題は無いという理解でよろしいですか。 また、問題無い場合は、その根拠をお示しください。(パラリンピック時に、2、3層スタンド373人が、車いす席から15分以内に避難は可能ですか。)	無
103	ユニバーサルデザインの計画	19	3-4 災害音声誘導による安全性の確保	災害時、非常放送利用時に本システムが使用できない可能性があり、実現性が不明確なため	法令上に基づく設備として計画しているものですか。 また、非常放送使用時の連動について具体的かつ網羅的に示してください。	無
104	ユニバーサルデザインの計画 基本図面	19 04	7-1 エレベーターは、1階から5階まで、エスカレーターは1階から4階まで着床可能な計画とし、～	基本図面4/12のエレベーターリストでは地下2階から5階までとなっており、不整合であるため確認する。	基本図面4/12のエレベーターリストでは地下2階から5階までとなっており、ユニバーサルデザイン計画と基本図面の記載内容が不整合ですが、基本図面が正しいとの理解でよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
105	ユニバーサルデザインの計画	19	10-2 各利用者のきめ細やかな配慮  ⑩待機列から空ブースを確認できるようフラッグサインを設置します。	トイレのフラッグサインの仕様は不明。	トイレのフラッグサインの仕様を具体的にお示ください。	無
106	ユニバーサルデザインの計画	19	11-1 フェーズ毎で意見を集約・昇華させるスパイラルアップ型のワークショップ	ユニバーサルデザインワークショップの具体的な予定回数、実施体制等が不明。	ユニバーサルデザインワークショップの予定回数、実施体制、専門アドバイザー等を具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 日本らしさに配慮した計画 】



## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
107	日本らしさに配慮した計画環境計画	20 21 24	(p20) 1.2 加圧注入処理(K3仕様) 3.7 「風の大庇」の格子は…アルミ製とし、焼付塗装とします。 開口率20%～70%  (p21) 1.5 加圧注入処理(K4仕様)  (p24) 3.1 風の大庇	軒庇の加圧注入処理について差異がある。 「風の大庇」と軒庇の仕様等に違いがあり、見え方に疑問がある。 木の縦格子の耐久性と開口率が不明 「適切な風環境」として、風の大庇(P.24)が提案されているが、ビル風や風切音に対する検討がされているか不明	風の大庇と木製縦格子に関し、以下についてお考えをお示してください。  ・木製縦格子斜め部の加圧注入処理はK4仕様と考えてよいか。併せて、加圧注入処理後の表面仕上げをお示してください。 ・縦格子は高さ方向にも展開した「緑り返し」とありますが、「風の大庇」の格子のみアルミ製となっており、さらにアルミ格子の開口率も20%～70%(挿絵の平面図に示された開口率A・B・Cの配置は間違いないか)とあり統一感がないと思われませんが、意匠上の考え方をお示してください。 ・木の縦格子について採用事例があれば、採用時期及び劣化状況についてお示してください。併せて本提案の開口率等をお示してください。 ・「風の大庇」の設置による、ビル風や風切音等の問題は無いでしょうか。無いと考える場合はその具体的理由をお示してください。	無
108	日本らしさに配慮した計画	22	1-5 「日本」を世界に発信する「情報の庭」  3階コンコースの一角に、日本の様々な情報を紹介する「情報の庭」を提案します。…多様な展示を行うことできるように照明や配線などフレキシブルな対応が可能な計画とします。	本工事範囲の確認	3階コンコースの一角に、「情報の庭」を提案されていますが、提案にあたり、何を実装しているかお示してください。	無



事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 環境計画 】

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
111	環境計画	23	パースに「(30年後の姿)」との記述	「30年後の姿」が何を意味するのか不明(植栽が成長しているだけ?)	パースに「(30年後の姿)」という表記がありますが、竣工直後との違いを具体的かつ網羅的にお示しください。	無
112	環境計画	23	1-3 周辺環境の保全に配慮したスタジアム  ペDESTリアンデッキに防風植栽を配置	スタジアムへの通風性との相関性について記載がないため確認する。また風害対策における効果が示されていないため	スタジアムへの通風性との相関性の考え方について、具体的かつ網羅的にお示しください。また、風害対策に対する効果を具体的にお示しください。	無
113	環境計画	23	1-3 周辺環境の保全に配慮したスタジアム  各階の連続した軒庇により、周辺への反射光を防ぎます。	低減効果の記載がないため	低減効果を具体的かつ網羅的にお示しください。	無
114	環境計画	23	1-3 周辺環境の保全に配慮したスタジアム  フラットな大屋根により、屋根面からの反射光を周辺地域に反射させない計画	低減効果の記載がないため	低減効果を具体的かつ網羅的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
115	環境計画	23	2-3 人が憩い、生き物がすみ、豊かな水辺 渋谷川の再現	維持管理費を含めたライフサイクルコストの記載がないため	本事業において整備する「せせらぎ」及び井戸・雨水利用設備について、維持管理費を含めたライフサイクルコストを具体的にお示しください。	無
116	環境計画	23	2-3 人が憩い、生き物がすみ、豊かな水辺 渋谷川の再現  「せせらぎ」により渋谷川を再現することで、多面的な価値を創出します。	多面的な価値について具体的な記載がないため	多面的な価値について具体的かつ網羅的にお示しください。	無
117	環境計画	23 24	2-3 人が憩い、生き物がすみ、豊かな水辺 渋谷川の再現  「せせらぎ」は、雨水集水機能を再生し、一部は地中に浸透するなど、水循環の回復に寄与する水辺です。	衛生上の観点、安全上の観点、ランニングコストの観点から大丈夫なのか。(子供は遊ぶであろう)	「せせらぎ」を計画する上で、衛生上の観点、安全上の観点、ランニングコストについて課題が挙げられますが、提案にあたり、その解決策を具体的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
118	環境計画 参考添付資料	23 参06	2-1 「大地の杜」の緑地への灌水設備は井戸と雨水を利用し、水を大地へ返すことで水資源の循環を図ります。  「せせらぎ」断面図 南西デッキ削減部断面	せせらぎの部分は立体都市公園タイプのどれにも該当しない地表の公園、重複利用していないので通常の公園になってしまうのでは。	地表部にせせらぎがありますが、この部分は立体都市公園ではなくなると考えられます。この点について考え方を示してください。	無
119	環境計画	24	1-1 緑地、水面、保水性舗装、屋根塗装による表面温度上昇の抑制	温熱環境を下げるための取組が記載されているが、温熱シミュレーションの想定条件が不明確なため	温熱シミュレーションの想定条件を具体的にお示しください。	無
120	環境計画	24	1-1 緑地、水面、保水性舗装、屋根塗装による表面温度上昇の抑制	保水性舗装の保水率による気化作用が見込めない場合、どの程度の効果が見込めるか記載がないため	保水性舗装により、どの程度の効果が見込めるか具体的にお示しください。 また、保水率向上のための対策を検討されていれば具体的にお示しください。	無
121	環境計画	24	1-4 ウォーターミストによる涼感の創出	ウォーターミストの設置範囲及び温度低減効果が示されていないため	ウォーターミストの設置範囲及び温度低減効果を具体的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
122	環境計画	24	2-1 「大地の杜」の緑地への灌水設備は井戸と雨水を利用し、水を大地へ返すことで水資源の循環を図ります。	井水と雨水を利用した水循環浄化システムの収支バランスの記載がないため確認を行う。  せせらぎを提案しているがデッキ下のせせらぎについては、ほとんど水が流れている時がない可能性がある。	水循環浄化システムの導入にあたり、水の収支バランスをお示しください。 また、デッキ下のせせらぎについて、降雨時のみ水が流れるせせらぎと、水を循環させるせせらぎの別をお示しください。さらに、降雨時のみ水が流れるせせらぎは、どの程度水が流れると想定しているかお示しください。	無
123	環境計画	24	2-1 「大地の杜」の緑地への灌水設備は井戸と雨水を利用し、水を大地へ返すことで水資源の循環を図ります。  灌水や「せせらぎ」に雨水や井戸水を利用するなど、敷地全体での水の有効利用  雨水利用槽	雨水利用槽の具体的容量が不明	雨水利用槽の容量をお示しください。	無
124	環境計画	24	3-2 スタジアムの熱負荷を軽減する日射制御  …観戦環境に配慮しガラス下部には、夏季に観客席に入る日射を防ぐ角度で固定アルミルーバーを設置します。	ガラス下面の清掃方法確認	屋根のガラス下部に日射を防ぐ固定アルミルーバーの設置が提案されていますが、ガラス下面の清掃の考え方を具体的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
125	環境計画	24	3-3 観客席の温熱環境の改善  パッシブな環境調整手法の組み合わせにより、観客席の体感温度(SET*)や暑さ指数(WBGT)の上昇を抑制します。	観客席の温熱環境の改善に関する具体策が不明なため	観客席の温熱環境の改善に関する提案内容とそれぞれの効果について、具体的かつ網羅的にお示ください。	無
126	環境計画	24	3-3 観客席の温熱環境の改善  さらに、直達日射が当たる観客席を中心に気流創出ファンを設置し、弱風時の体感温度を低減します。	ファン作動時のフィールド上の風による競技への影響、客席の騒音について、記載がないため。また、参考添付資料(8/10)で示されているシミュレーションの観客席の条件について確認を行う。	ファン作動時における競技への風の影響及び観客席へのファンの作動騒音の影響について、問題がないことを具体的にお示ください。また、参考添付資料(8/10)で示されているシミュレーションの条件をお示ください。	無
127	環境計画	25	1-2 未利用エネルギーである下水本管(干駄ヶ谷幹線)の熱を芝育成用熱源に利用	行政協議が必要となっているが、許可を含めた実現性について確認を行う。	導入に際しては、行政との詳細協議に依ると記載していますが、許可を含めた実現可能性をお示ください。	無
128	環境計画	25	2-1 運用管理を支援する次世代型BEMSの導入  ※代表企業、独自保有技術	BEMS等の独自保有技術について、システム更新時に業者指定となる制限があるのか確認を行う。	BEMS等の企業の独自保有技術について、システム更新時や、ソフトウェアの追加変更の際に業者指定となるか等、その条件について具体的かつ網羅的にお示ください。	無



## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
129	環境計画	25	2-3 空調対象室の利用状況を踏まえた、適切な空調・熱源計画  熱源は電力デマンドやランニングコストなどを考慮し、ガス・電気をバランスよく採用します。	選定に至るライフサイクルコストの検討や熱源システムの内容について確認を行う。	熱源システムの選定にあたり、ライフサイクルコストについて具体的にお示しください。 また、熱源システムの詳細(電気・ガスの使用比率、熱源種別、熱源容量・台数等)についてお示しください。	無
130	環境計画	25	2-4 各空調システムへの省エネルギー技術の導入  空冷ヒートポンプの室外機には散水装置を設け、より高効率な運転を可能とし、省エネルギーを図ります。	効果について、明確に示されていないため	空冷ヒートポンプの室外機に散水装置を設ける効果及びライフサイクルコストについてお示しください。	無
131	環境計画	25	2-6 年間稼働エリアへの次世代人感センサーの採用	従来の人感センサーの改良型で、動きのない人間を感知でき、更なる省エネが期待できると提案しているが、省エネ効果が不明なため。	省エネ効果についての比較の対象となる標準案をお示しください。 また、標準案及び今回の提案のそれぞれについて、イニシャルコスト、ランニングコストによる運用50年間のライフサイクルコストとしてお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
132	環境計画	25	3-2 建物形状の特徴を活かした雨水の有効利用  ろ過処理をした雨水は雑用水として、便所洗浄水・植栽灌水・芝散水に利用することで省資源化を図ります。	雨水を芝散水等に利用する際に、人への影響を考慮したろ過処理、滅菌処理としているか確認を行う。	雨水を芝散水等に利用する際に、ろ過処理、滅菌処理を行う必要がありますが、処理方式について具体的にお示しください。	無
133	環境計画	25	3-3 ダンボールダクトの採用	ダンボールダクトについて、耐久性等が鋼板ダクトに比較して問題ないことを確認を行う。	ダンボールダクトについて、耐久性、公共工事導入実績、工期・イニシャルコスト縮減に対する効果を具体的にお示しください。 また、鋼板ダクトと比較して、性能品質上の優劣を具体的にお示しください。	無
134	環境計画	25	3-5 敷地内の落ち葉をコンポスト(たい肥)化し有効利用	コンポスト化の概要やライフサイクルコストについて、記載がないため確認を行う。	コンポスト化の概要や実施主体及びライフサイクルコストについて具体的にお示しください。	無
135	環境計画	25	4-1 次世代燃料電池(SOFC)設置と計画	工事区分が不明確なため	本事業として設置することを提案していますか。 また、設置予定の容量及び設置場所の大きさについて、具体的にお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
136	環境計画	25	4-2 水素スタンドの設置場所を想定  …敷地内に水素スタンド設置想定場所を確保します。	整備しようとする範囲が不明確なため	水素スタンド設置想定場所を確保とありますが、必要となる電源、給水設備等、本提案において実装するものを具体的かつ網羅的にお示しください。	無
137	環境計画	25	5 多くの来館者が、本計画における生物多様性、物質循環、自然エネルギーなどの様々な環境配慮の設えを体感することで、環境共生の大切さや心地よさを理解し、環境負荷軽減に向けた意識向上につなげていきます。	来館者が様々な環境配慮の設えを体感するための具体的な仕組みを確認する。	来館者が様々な環境配慮の設えを体感するための仕組みを具体的にお示しください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）

～技術的事項の確認～

**【 構造計画 】**

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
138	構造計画	26	2-2 リングトラスと屋根先端むくりによる形態抵抗の形成	屋根先端むくりによる形態抵抗の形成が加点对象と考えられるかどうかの確認	アーチ効果を期待する屋根のむくり高さが約3.8m程度であり、ライズ・スパン比が1/25程度の低ライズ形状では得られるアーチ効果は極めて限定的だと考えられます。得られるアーチ効果について説明してください。 また、本提案の効果について、鉄骨部材がどの程度縮減されるのかお示しください。	無
139	構造計画	26	3-1 木材利用による短期荷重時の変形抑制	実験及びその費用等も含めた総合的な検討がされているかの確認	屋根トラスの鉄骨と木材のハイブリッド構造において、モックアップ等を作成した実証実験を行う予定はありますでしょうか。また、実施した場合の費用については、事業費に含まれると考えてよろしいでしょうか。	無
140	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	モニタリングシステムの実現性について確認	ご提案のモニタリングシステムは業務要求水準書を上回るものと考えて宜しいでしょうか。 その場合、業務要求水準書通りとする場合と比較した効果とコストについてお示しください。	無
141	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	屋根吊り物の設定についての確認	吊り荷重の位置、作用期間(短期、長期)をどのように設定しているのでしょうか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
142	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	上下動に対しても屋根吊り物の揺れを低減できるのか確認	水平方向地震以外の外力(上下方向地震や強風)に対して、どのような安全性評価を行うことで吊り物の安全性を検討される予定でしょうか。	無
143	構造計画	27	4-2 時刻歴応答解析による制震効果の確認	地震時応力が業務要求水準書を満足しているかどうかの確認	業務要求水準書では、レベル2地震時において屋根・基礎は短期許容応力以内に納まることとしています。主要構造物においては、弾性限界耐力に納まるだけでなく、短期許容応力以内に納まっているでしょうか。	無
144	構造計画	27	4-2 時刻歴応答解析による制震効果の確認  6-1 表 ④地震荷重	建物の地震時水平耐力が加算対象と考えられるかどうかの確認	表④地震荷重中において設定している地震動のすべてについても、概ね弾性限界耐力に納まると考えてよろしいでしょうか。また、概ね弾性限界耐力に納まるという表現について、塑性率や累積塑性変形倍率等の具体的な数値でお示ください。	無
145	構造計画	27	5-1 耐震性能を高めるエキスパンションジョイント計画	通常より大規模なエキスパンションジョイント設置により懸念される安全性の確認	多くの利用者が通行する部位にエキスパンションジョイントが設けられています。利用者の安全性を確保するためのエキスパンションジョイント設計方針をお示ください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
146	構造計画	27	6-1 表 ③風荷重	保有耐力以下という条件が不明なため	異常気象などにより想定される荷重(地震・風・積雪)に対して保有耐力以下に抑えるとの提案ですが、「風・積雪に対して保有耐力以下」についてお示しください。	無
147	構造計画	27	6-1 表 ③風荷重	竜巻荷重検討内容の妥当性を確認	竜巻を考慮した風荷重の設定方法、それに対する安全性の検証方法を具体的にお示しください。	無
148	構造計画	27	6-1 表 ⑤施工時荷重	施工時荷重の設定が妥当であるかの確認	施工時荷重の地震力の係数について、屋根部分においても $K=0.2$ でしょうか。	無
149	構造計画	28	7-1 鉄骨造を基本としたスタンド	難しい納まりについて、実現可能か確認	スタンド部分のレイカー梁のPCaのSRC梁とS柱との仕口部の納まりについて、簡単に説明下さい。また難しい納まりとなることが想像できますが、提示された工事費や工期内で実施できると考えてよろしいでしょうか。	無
150	構造計画	28	7-1 鉄骨造を基本としたスタンド	構造的に問題のある内容について、実現可能か確認	最外周の柱には地震・風荷重時に大きな引張り力が発生すると思われませんが、露出柱脚及び直接基礎で基礎及び地盤への力の伝達について問題ありませんか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
151	構造計画	28	7-2 性能、品質を高めるスタンドのプレキャスト化	想定しづらい荷重の設定方法について確認	スポーツ観戦時の観客の飛び跳ねに対する振動検討における荷重設定方法および解析手法について、お示しください。	無
152	構造計画	28	8-1 十分な耐力と剛性を有する直接基礎	既存杭残置の有用性について確認	既存杭のある部分とない部分の沈下性状の違いに対する対応方針をお示しください。	無
153	構造計画	28	9-1 100年間構造上の大規模な修繕を行わずに使用可能とする構造体の対策	底版・マットスラブの防水性についての確認	底版・マットスラブは水セメント比を小さくするだけで、防水混和材の使用等の対応をしなくても十分な防水性能が得られるとお考えですか。	無



事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 建築計画 】

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
154	建築計画	29	1-1 安全性と見やすさ、臨場感を共存させたスタンド構成  ・1層、2層、3層スタンドの角度を徐々に急にしていくことで、フィールドを包み込むような、すり鉢状の3層スタンド構成とし、選手と観客の一体感を創出します。	スタンド構成と選手と観客の一体感を生み出すこととの関連性が不明なので確認する必要があります。	スタンドを3層構成とすると、選手と観客の一体感を創出しますとの記載がありますが、このようなスタンド構成が、なぜ選手と観客の一体感を創出するのか、基本的な考え方を示してください。	無
155	建築計画	29	1-3 全ての観客席から競技空間が見やすいスタンド形状  ・サッカーのコーナー部分4箇所についても同様に、C値60mm以上を確保します。(フォーカルライン拡大図④参照)	サッカーの場合、ピッチ周辺に広告看板設置されません。広告看板を越えて、4コーナーを結ぶフォーカルラインに対してC値60mmでサイトラインが構成されているか、確認を必要とします。	サッカーの場合、ピッチ周辺に広告看板が設置されます。広告看板を超えて、4コーナーを結ぶフォーカルラインに対してC値60mmでサイトラインが構成されているものと考えてよろしいですか。	無
156	建築計画	29	1-3 全ての観客席から競技空間が見やすいスタンド形状  ・サッカーのコーナー部分4箇所についても同様に、C値60mm以上を確保します。(フォーカルライン拡大図④参照)	サッカーの場合、メインスタンド側に選手ベンチが設置され、ベンチの設置で見切れ席が生じる場合があります。大会後の観客席整備において、ベンチの設置により見切れる席数を考慮して、業務要求水準書の求める席数(8万人)が満足しているか確認を必要とします。	サッカーの場合、メインスタンド側に選手ベンチが設置され、ベンチの設置で見切れ席が生じる場合があります。大会後の観客席整備において、ベンチの設置による見切れ席数を考慮して、業務要求水準書が求める8万席が収容できると考えてよろしいですか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
157	建築計画	29	1-3 すべての観客席から競技空間が見やすいスタンド形状  C値60mm以上 VVIP席は120mm以上	スタンド増設後の対応について記載がない	大会後(増設後)も、C値60mm以上(VVIP席は120mm以上)確保できると考えてよろしいですか。	無
158	建築計画	29	1-4 安全性と見やすさを両立させたスタンド手すり計画  ・スタンド先端手すりの高さは900mm程度、縦通路正面の先端手すりは1100mmと安全性を考慮しつつサイトラインの影響の少なく見やすい手すり形状とします。	縦通路正面の先端手すり1100mmを越えて、適切なサイトラインが構成されているか確認する必要があります。	縦通路正面に高さ1100mmの手すりを設けていますが、斜め方向のサイトラインを阻害しないよう、手すりを越えてサイトラインが計画されていると考えてよろしいですか。	無
159	建築計画	29	1-5 充実した観戦環境を実現する座席計画	座席計画に示す1層スタンドの座席間隔480mm以上の記載と図版の不整合	座席間隔の記載について、1層スタンドは480mm以上と示されており、図版に記載の460mm以上は誤記と考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
160	建築計画	29	1-5 充実した観戦環境を実現する座席計画  ・座席は強度・耐久性・耐候性があり、さらに燃えにくく安全性が高い合成樹脂ガスインジェクション成型品を採用します。	合成樹脂ガスインジェクション成型品の品質について、それ以外の製品及び素材と比較して優れていることを確認する必要があります。	座席について、合成樹脂ガスインジェクション成型品をご提案ですが、強度、耐久性、耐候性、難燃性について、他の素材若しくは他の製品との比較において、優れているということを数値等を用いてお示しください。	無
161	建築計画	29	2-1 大規模改修が不要な車いす席計画  ・パラリンピック競技大会時には、簡易なオーバーレイを一部施すことで約700席の車いす席を確保します。	オリンピック終了後、パラリンピック開催までの約2週間の短期間でオーバーレイ工事ができるか、実現性を確認する必要があります。	オリンピック大会終了後からパラリンピック大会開催までは約2週間しかありませんが、その短期間でオーバーレイ工事が可能であるか、実現性を具体的にお示しください。 なお、本整備事業の受注者以外の第三者がオーバーレイ工事を実施する前提でお示しください。	無
162	建築計画	29	2-2 改修範囲の少ない大会後のスタンド計画  ・大会終了後は常設スタンドを改修せずオーバーレイが不要で、スムーズな転換が可能です。	オーバーレイによる増設スタンドが挿絵の通りに施工できるか不明なので、確認する必要があります。	大会終了後に8万席とするオーバーレイ増設スタンドについて、実現可能な設計を行った上で、6.8万席の競技場を整備する必要があることを理解していますか。 なお、その際の概算事業費をお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
163	建築計画 参考添付資料	29 参02	2-3 大会後サイドスタンドをピッチに近づける計画案  2-1 案② 屋根範囲	計画案②の屋根ラインにスタンドが収まっていない	大会後サイドスタンドをピッチに近づける計画案②について、屋根のない範囲は必須項目に抵触しますが、屋根は設置されるという理解でよろしいですか。	無
164	建築計画 参考添付資料	29 参02	2-3 大会後サイドスタンドをピッチに近づける計画案  2-1 案② 座席間隔	計画案①に対して、480mm以上の座席間隔の割合が少なくなっている。	計画案①(増設席が全て屋根の下におさまる)では、座席間隔が480mm以上の割合が94%であるのに対し、計画案②では80%に下がる理由を具体的にお示してください。	無
165	建築計画	30	4-5 最短距離で座席まで移動可能な、車いす使用者動線  ・2、3層スタンドの車いす使用者のために、IPC基準適合のエレベーターを南北計4台設置し、アクセスのしやすさに配慮します。	車いす使用者のアクセスのために南北にエレベーターを設けていますが、2、3層には東西にも車いす席があるので、最短のアクセスという訳ではありません。考え方を確認する必要があります。	車いす使用者のアクセスのために南北にエレベーターを設けていますが、2、3層には東西にも車いす席があります。このエリアの車いす利用者のサービスについての考え方をお示してください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
166	建築計画	31	7-1 災害時退避スペースとして利用可能なコンコースへの配慮  電気ストーブの利用が可能なコンセントを分散配置する計画とする。	電気ストーブの電気容量は大きく、想定台数によっては保安用発電機容量への影響も懸念されるため	コンコースに設置を想定する電気ストーブの電気容量のうち、保安用発電機の負荷として想定している電気容量を具体的にお示しください。	無
167	建築計画	31	7-3 スムーズな救援物資の供給に配慮した防災備蓄倉庫スペース  防災備蓄倉庫は(略)500人×3日分以上の余裕あるスペース(450㎡)を確保します	観客(最大8万人)の備蓄用の倉庫位置等が不明	防災備蓄倉庫について、観客(最大8万人)用の収容スペースとして、どの部屋を想定しているかお示しください。	無
168	建築計画 基本図面 参考添付資料	31 12 参07	7-7 機能維持のための施設インフラ及びリアルタイム監視  施設概要 3 設備概要  7-6 保安用発電機容量	業務要求水準書では、非常用発電設備及び保安用発電設備の容量の選定については、関係法令に定めることに加え、【添付資料11】「各室性能表」に記載した負荷に対応したものとしているため	業務要求水準書では、非常用発電設備及び保安用発電設備の容量の選定については、関係法令に定めることに加え、【添付資料11】「各室性能表」に記載した負荷に対応した内容となっていない場合は、設計施工段階における対応で要求水準を満たす必要があることを理解していますか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
169	建築計画 基本図面 参考添付資料	31 12 参07	7-7 機能維持のための施設インフラ及びリアルタイム監視  施設概要 3 設備概要  7-6 保安用発電機容量	業務要求水準書では、単独及び同時運転ができ、系統連系運転設備を備えることとしているため	業務要求水準書では、単独及び同時運転ができ、系統連系運転設備を備えることとしていますが、技術提案書に記述がありませんが、設計・施工段階における対応で要求水準を満たす必要があることを理解していますか。	無
170	建築計画 基本図面	31 01	7-7 機能維持のための施設インフラ及びリアルタイム監視  配置図兼外構図	ハイブリッドソーラー外灯の設置方針の確認 また基本図面上にハイブリッドソーラー外灯は配置されているが、それ以外の外灯については配置されていない。	ハイブリッドソーラー外灯を部分的に採用とありますが、具体的な設置方針をお示してください。 また、基本図面上にハイブリッドソーラー外灯は配置されていますが、それ以外の外灯については配置されていません。それ以外の外灯については設計・施工段階における対応という理解でよろしいですか。	無

事業者への確認事項（技術提案書）  
～技術的事項の確認～

【 基本図面 】



事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
171	基本図面	01	■屋外施設概要 その他屋外施設 ベンチ/水飲み/手洗い場	数量の記載がない。	水飲み及び手洗い場の想定数量をお示しください。	無
172	基本図面 参考添付資料	03～06 参01	平面図(主要階) 平面図(全階)  1面積諸元表、仕上表 1面積諸元表 ⑧維持管理機能、 機械室・シャフト 面積21,716㎡ 業務要求水準書との差- 2,284㎡	要求面積より9.52%減あり、 [REDACTED]	今後の協議において、業務要求水準書を踏まえ、維持管理機能の面積が不足と判断された場合は提案事業費内で、面積を増加させると理解してよろしいですか。	無
173	基本図面	04	平面図(主要階)  EV9～11	EV9～11の仕様が不明	EVリストにないペDESTリアンデッキのエレベーター仕様に関する考え方をお示しください。 また、EVリストにある分類の違いによる仕様の違いを具体的にお示しください。	無
174	基本図面	05 06	平面図(全階)  喫煙所は [REDACTED]	原則禁煙なのだが、 [REDACTED]喫煙スペースは 必要なのではないか。	[REDACTED]喫煙スペースの考え方をお示しください。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
175	基本図面 参考添付資料	05、06 参07	平面図(全階) 7-8 受変電設備	参考添付資料において、 となり、一方基本図面5及び6では 記載されているため	参考添付資料では、 とあり、基本図面5及び6では と記載されています。 異なる記載となっておりますが、高圧変電設備の計画について具体的にお示しください。	無
176	基本図面 参考添付資料	12 参07	施設概要 3 設備概要 7-7 競技用照明計画	業務要求水準書では、照明器具を高天井などの高所に設ける場合はメンテナンスを考慮して整備しているため	業務要求水準書では、照明器具を高天井などの高所に設ける場合はメンテナンスを考慮して整備するとしていますが、技術提案書に記述がありませんが、設計・施工段階における対応で要求水準を満たす必要があることを理解していますか。	無
177	基本図面 参考添付資料	12 参07	施設概要 3 設備概要 7-8 受変電設備	業務要求水準書では、オリンピック・パラリンピック大会時のみに使用するものは、撤去しやすいよう計画しているため	業務要求水準書では、オリンピック・パラリンピック大会時のみに使用するものは、撤去しやすいよう計画するとしていますが、技術提案書に記述がありませんが、設計・施工段階における対応で要求水準を満たす必要があることを理解していますか。	無
178	基本図面 参考添付資料	12 参07	施設概要 3 設備概要 7-8 受変電設備	業務要求水準書では、敷地境界から特別高圧受変電室の受電点までは、可能な限り短い引込配線ルートを整備しているため	業務要求水準書では、敷地境界から特別高圧受変電室の受電点までは、可能な限り短い引込配線ルートを整備するとしていますが、技術提案書に記述がありませんが、設計・施工段階における対応で要求水準を満たす必要があることを理解していますか。	無

## 事業者への確認事項(技術提案書)

## ～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
179	基本図面	12	施設概要 3 設備概要 空気調和設備 電気ガス複合熱源/空冷HP による個別空調	業務要求水準書で示す空調ゾーニングを実施していることを確認する。	各エリアの空調方式別の空調ゾーニング計画について具体的にお示ください。	無
180	基本図面	12	施設概要 3 設備概要 給排水衛生設備 衛生器具設備	大会後の必要器具数上の器具は、大会後に容易に撤去できる業務要求水準書としていますが、提案書に記載がないため確認する。	容易に撤去するための対応策を具体的にお示ください。	無